

# ぎかいの木

## CONTENTS

3月定例会の審議……………P2～3  
常任委員会審査報告……………P4～5  
所管事務調査報告……………P5  
代表質問……………P6～7  
一般質問……………P8～12  
第1回臨時会……………P13  
議会の動き……………P14

NO.78 令和5年5月1日号

3月定例会などの内容をお伝えします。



～一人ひとりが輝ける学園に～

### 義務教育学校阿仁学園 開校

- 目指す「みとせの学び」
- み ○○○ 自ら学ぶ主体性
  - と ○○○ 共に高め合う心
  - せ ○○○ 精一杯やり抜くたくましさ



3月16日 定例会最終日での採決（令和5年度一般会計予算）

## 令和5年度一般会計当初予算は

# 226億4308万4000円

## 対前年比 3億7281万6000円の増

主な令和5年度予算	予算額
路線バスフリーパス助成金	3,745千円
大館能代空港利用促進事業補助金	43,500千円
北秋田市地域生活支援拠点整備費補助金	149,670千円
きたあきた赤ちゃん応援事業	8,925千円
私立保育園運営事業	631,164千円
森林環境譲与税事業	27,456千円
森吉山を中心とした賑わい拠点整備事業	14,879千円
統合分署建設事業	247,688千円
阿仁分署建設事業	31,964千円
消防ポンプ付救助工作車更新事業	137,243千円
市有スクールバス運行管理委託事業	65,048千円
スクールバス更新事業	21,560千円
義務教育学校「阿仁学園」改修事業	640,423千円

### 令和5年 3月定例会

令和5年北秋田市議会3月定例会は、3月1日から16日までの16日間の会期で行われました。  
 今定例会では、条例案13件、補正予算案12件、当初予算案19件、単行議案3件、報告1件、陳情4件のほか、最終日には令和5年度補正予算や人事案件5件が追加提案され、いずれも可決及び採択としました。

### 3月定例会の主な議事

- 北秋田市個人情報情報の保護に関する法律施行条例の制定について
- 北秋田市情報公開条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市子ども・子育て会議設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市保育所条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市合川地区における公共下水道の供用開始に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

# 賛成・反対討論

## ▼議案第27号

### 反対討論 久留嶋範子 議員

消費者物価指数が41年ぶりの高水準で市民への家計負担が増えている。具体的支援策は、学校給食食材高騰のみ。一方で財政調整基金は64億円もあり、市民の暮しに使うべき。

### 反対討論 福岡 由巳 議員

決算における経常収支比率は「数値が高まると財政構造の弾力性は失いつつある」と判断されるが5年間90%以上の比率が続き人件費、市民病院負担金等改善の方向が見えない。

## ▼議案第43号

### 反対討論 三浦 倫美 議員

より良い地域医療と経営改善のためには、医師確保が最重要課題であるが、多額の負担金が慢性化している一方で、それを克服、改善すべく医師確保の予算が不足している。

### 反対討論 福岡 由巳 議員

入院及び外来患者は増えている訳ではなく、圏域外への60%流出は依然として改善されず、減価償却費免除は市の財政にも悪影響を与えている。緊急なのは常勤医師確保である。

## ▼陳情第18号

### 反対討論 板垣 淳 議員

庁舎内での政党機関紙の勧誘配達集金は憲法で保障されており、それに反する陳情を採択しても拘束力はない。提出者は統一教会。その片棒を我が市議会が担いではないけない。

### 賛成討論 福田 牧子 議員

政党機関紙の啓蒙は、政党議員の政治活動。職員が自宅で購読するは自由。庁舎内での購読は政治的中立が疑われる。心理的圧力で購読するのであれば尚更であり、自粛すべき。

### 反対討論 福岡 由巳 議員

陳情は憲法の基本的人権の各条文に抵触し、私たちは憲法を順守し軽率な判断を避けるべきである。本市で問題事例はなく、あったときは迷惑行為防止条例等で判断すればよい。

## 人事案件

### 教育委員会教育長の任命

〈再任〉佐藤 昭洋氏（木戸石）

○北秋田市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例の制定について

○北秋田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

○令和4年度一般会計補正予算

○令和4年度各特別会計補正予算

○令和4年度各事業会計補正予算

○令和5年度一般会計予算

○令和5年度各特別会計予算

○令和5年度各事業会計補正予算

○令和5年度一般会計予算

○令和5年度各特別会計予算

○令和5年度各事業会計補正予算

○令和5年度一般会計補正予算

### 教育委員会委員の任命

〈再任〉佐藤 英樹氏（宮前町）

### 監査委員の選任（議員選出）

〈再任〉佐藤 文信 議員

### 固定資産評価審査委員会委員の選任

〈新任〉松岡 宗夫氏（羽根山）

〈再任〉嶺脇 裕徳氏（坊沢）

### 人権擁護委員候補者の推薦

〈再任〉長岐 直介氏（七日市）

〈再任〉片岡 正氏（浦田）

## 賛否が分かれた議案等の表決状況

議案名	採決結果		
	可決	可決	採択
議案第18号 庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情	可決	可決	採択
議案第43号 令和5年度北秋田市病院事業会計予算	可決	可決	採択
議案第27号 令和5年度北秋田市一般会計予算	可決	可決	採択
清明会	小笠原 寿	▼	▼
	永井 昌孝	▼	▼
	佐々木正史	○	○
	松橋 久敏	○	○
	堀部 壽	-	-
	中嶋 洋子	○	○
	長崎 克彦	○	○
新創会	佐藤 文信	○	○
	虻川 敬	○	○
	杉淵 一弘	○	○
日本共産党 議員団	佐藤 重光	○	○
	板垣 淳	●	●
	三浦 倫美	●	●
公明党	久留嶋範子	●	●
	福田 牧子	○	○
無党派	福岡 由巳	●	●
	五代儀義富	○	○

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 除：除斥 ※議長は採決に加わりません。

【令和5年3月定例会／令和5年3月16日採決】

## 総務文教常任委員会 原油高騰に伴い各施設で増額補正

【委員長】小笠原 寿 【副委員長】五代儀義富 【委員】福田牧子／堀部 壽／板垣 淳／佐藤文信

当委員会に付託された案件は、条例案3件、予算案15件、単行議案3件、陳情2件の計21件でした。

令和4年度一般会計補正予算の審査では、委員からの「財調残高が多すぎるのでは」との意見があり、当局からは「ふるさと納税が好調である事や交付税の減額見込みが抑えられた」との説明がありました。また、スポーツ振興課の審査では、体育館の落雪ネット工事の減額に質疑があり、当局からは「相手側との話がまとまらず工事が中止になった」との説明がありました。

令和5年度一般会計予算の審査では『空き家の調査委託』『部活動の地域移行』『100キロマラソンへの補助金』などの質疑のほか、内陸線再生支援室の審査では「仙北市との協調はどうか」との質疑があり、当局からは「方向性は一致している」との認識が示されました。また、阿仁学園の建設については「車いす等も利用できる『みんなのトイレ』が一つだけで良いか」との質疑があり、「設計段階

で3校の校長を交えて検討したもの」との答弁がありました。

採決では、令和5年度一般会計予算で「財調残高の活用が不十分である」との反対討論もありましたが賛成多数で、このほかの議案は全会一致で可決すべきものと決しました。

また、陳情2件のうち「庁舎内における政党機関紙の勧誘・集金の自粛を求める陳情」の審査では「政党機関紙の購読が憲法の保障する自由であり、庁舎内での配達・集金も判例で認められている」との反対討論や「職員へのパワハラに関する問題であり、ルールの見直しは必要」との賛成討論があり、採決の結果、賛成多数で採択すべきものと決しました。

(副委員長 五代儀義富)



秋田内陸縦貫鉄道

## 市民福祉常任委員会 阿仁分署は隣接に建設

【委員長】佐藤重光 【副委員長】三浦倫美 【委員】虻川 敬／佐々木正史／中嶋洋子

当委員会に付託された案件は、条例案7件、予算案16件、陳情1件の計24件でした。

令和5年度一般会計予算について、委員から「阿仁分署の新たな場所が、今の建物に隣接した駐車場を予定しているが、業務に支障が出るなどの不都合はないか。また、土砂災害警戒区域にあたらぬのか」との質疑があり、当局からは「十分にスペースはとれるが、工事車両等が頻繁になるので心配もあるが、十分に確保できる。また、阿仁地区は土砂災害警戒区域が多いが、現在の阿仁分署から駐車場は警戒区域に入っていないため、そこを予定地とした」との答弁がありました。

また、委員から外出支援サービス負担金に関して「令和4年度と5年度の違いは」との質疑があり、当局からは「段階的に利用者の負担額が増えるものであるが、実際の利用は負担額が上がる方と上がらない方がいて、一回あたり100円程度の影響になる」との答弁がありました。



現阿仁分署隣に建設予定

ド事業について、委員から「申請はインターネットからでもできるが、住所を北秋田市に置いたまま、学生や出稼ぎに行っている方などに対しても、交付は本人でなければならぬのか」との質疑があり、当局からは「現状は、本人手渡しというところは変わらない。なお、正式な通知はないが、国の方でも代理交付の動きが出ている。今後、国の通知や他の市町村とも研究しながら、取り組んでいきたい」との答弁がありました。

(委員長 佐藤重光)

# 産業建設常任委員会 米代川河川公園を完全緑地化に

[委員長] 杉渕一弘 [副委員長] 松橋久敏 [委員] 永井昌孝 / 福岡由巳 / 久留嶋範子 / 長崎克彦

当委員会に付託された案件は、条例案3件、予算案4件、単行議案1件、陳情1件の計9件でした。

令和4年度一般会計補正予算では、委員から「米代川河川緑地公園は、災害によって冠水するたびに復旧経費が掛かり、グラウンドの維持管理費も非常に掛かっているが、どう考えているか」との質疑があり、当局からは「災害による表土の入れ替えに大変お金が掛かっていた。維持管理費の削減や安全性の確保から、フェンスを撤去して緑地化した公園に形態を改めたい」との答弁がありました。

令和5年度一般会計予算関連では、委員から「民有林造林事業費補助金を15%から20%に補助率を上げる範囲はどこまでか」との質疑に「新植枝打ち、下刈りの3つを計画している」との答弁。また、「地域のイベントに対する補助金が、前年度から減らされている理由は」との質疑に、「市の財政事情等もあり、実行委員の方々に相談をして、このような形となった」との答



米代川河川緑地公園

弁がありました。

水道事業会計予算では、委員から「購入する設置型組立式給水用タンクの設置場所と使用方法は」との質疑に、「鷹巣浄水場に配備し、災害等による複数地域での断水を想定して4基の購入とした」との答弁がありました。

下水道事業会計予算では、委員から「維持管理の面から下水道料金の値上げは、いつ頃からの予定か」との質疑に「まずは料金審議会の中で審議していただき、それを受けて丁寧な説明をしていきたい」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、予算案は賛成多数で、他の事件については全会一致で可決すべきものと決しました。

(委員長 杉渕一弘)



## 閉会中の所管事務調査 委員長報告 (抜粋)

### 総務文教常任委員会

1月30日に「通学路の安全確保について」の調査を実施しました。

学校教育課からは「北秋田市通学路安全プログラム」と「通学路安全推進会議」の説明があり、北秋田市PTA連絡協議会からの要望に基づいて、県と推進会議が合同点検を実施したほか、10月に登校時間帯の調査を18か所と冬期間の登校時調査を鷹巣2校で行ったとの説明がありました。

質疑応答のあと、鷹巣中学校の通学路のうち鷹巣陸橋から校門までの視察を行い、委員からは「陸橋の西側歩道部分が対岸まであれば安全度が高まるのでは」との意見が相次いでいました。

(文責者：副委員長 五代儀義富)

### 市民福祉常任委員会

1月31日に「クリーンリサイクルセンター」「し尿処理施設」の調査を実施しました。

平成30年から稼働の「クリーンリサイクルセンター」は、低空気比で高温燃焼ができ、低一酸化炭素と低窒素酸化物で環境負荷の低い施設。年間搬入量は人口減で減少傾向にあるが、直接搬入ゴミは住居や空き家の片付けによる家財等が増加傾向との説明でした。

「し尿処理施設」は令和2年完成し、本市と上小阿仁村から発生する、し尿や浄化槽汚泥等を処理しています。下水道投入処理方式でコストを抑え、焼却工程がなく環境への負荷が低減されています。

(文責者：副委員長 三浦倫美)

### 産業建設常任委員会

1月31日に「除雪」と「森林環境譲与税」についての調査を実施しました。

除雪は毎年作成の「除雪計画」に基づき実施している。早朝出勤は午前2時30分から午前7時までとし、出勤基準は降雪量10cmあるいは5cm程度以上になると予想される場合に出動しているなど概要について説明を受けました。

森林環境譲与税については、北秋田市への交付額やその用途について説明を受け、質疑を行いました。「今後の活用について」の問いに、担当者からは「民有林造林事業費補助金の拡充などを考えている」との答弁がありました。

(文責者：副委員長 松橋久敏)

# 市長の施政方針を問う 会派代表質問

## 《日本共産党議員団》

### 【質問内容】

1. 物価高騰による市民生活の支援策について
2. 新型コロナの5類移行に伴う今後の対応について
3. 「こども課」の創設について
4. 内陸線支援について
5. 公共下水道事業について
6. 消防防災体制について

## 《新創会》

### 【質問内容】

1. 空家対策について
2. 大館能代空港3便化について
3. こども課について
4. 農林業の振興について
5. 観光政策について

## 《清明会》

### 【質問内容】

1. 市政について
2. 観光振興について

会派代表質問・・・3人以上の会派の代表が市長の市政方針に対して行う質問です。

一定の議員数を有する会派ごとに調整して質問することで、重複する質問を減らし、円滑かつ効率的な議事運営を図るために採用しています。

## 日本共産党議員団



久留嶋 範子



QRコード

### 「こども課」創設で 何が違うか

**Q** 施政方針では「物価高騰は今後も市民生活に影響を及ぼすものと想定され、状況を見極め躊躇なく対応していく」とあるが、具体的な支援策はどうか。

**A** 市民応援チケット事業と同第2弾を実施している。23年度に限り学校給食費の値上げ分について市独自に支援する。今後とも国や県等の動向を注視し、柔軟に対応する。

**Q** 「こども課」の設置で従前と何が違うのか。単に「係」を「課」しただけではないか。

**A** 新たにこども家庭総合支援拠点を運営し、市内すべての子どもとその家庭及び妊産婦を対象に、より専門的な相談や訪問等で総合的、継続的支援を行う。

**Q** 内陸線支援について、仙北

市と温度差があるのではないかと。

**A** 仙北市は昨年11月、内陸線に対する今後の在り方を協議するための資料として市民意識調査を実施したようだが、県や仙北市とは様々な事業を協調して実施し、支援を継続することで一致しており、温度差があるとは考えていない。

**Q** 公共下水道事業について、使用料改定に向けた取組を進めるとあるが、具体的にはいつの値上げを考えているのか。

**A** 使用料改定に向け検討を進めてきたが、コロナ禍や物価高騰により、令和6年度に先延ばしする方向で考えている。



新たに創設された「こども課」

新創会



佐藤 文信



QRコード

空港3往復で

地域振興活用へ

**Q** 空き家対策として、特定空き家に至る前に解体を支援する制度を策定する考えは。

**A** 特定空き家等に認定された場合は50万円を上限として支援しているが、他自治体の情報収集をし、検討を行っている。

**Q** 大館能代空港3往復の継続を地域振興に活用する方法は。

**A** 来訪者が北秋田市に立ち寄る仕組み作りを進める。また、ふるさと納税による電子商品券の返礼品は、現在阿仁スキー場で利用可能であることから、今後市内の観光施設や宿泊、飲食店等への導入を進めていく。

**Q** 昨年8月豪雨で今年度作付けできない水田に対する支援は。

**A** 農業用水の確保が困難な水田について、水稻以外の種苗購



3 便化の推進活動（大館能代空港）

入費にも助成をする。また、J Aにソバ、大豆の作業受託が円滑に進むよう、コンバインの購入費助成などで支援をしていく。

**Q** 自治体や企業等が使用する場合に認証材を求めることが全国的に増加している。有利販売につなげるためにも、日本適合認証協会の森林認証を取得する考えは。

**A** 市を含む素材生産者が取得するF M認証と木材の製材加工流通に従事する者が取得するC O C認証の2種類があり、2つの認証の連鎖により制度が完了し、消費者へ届く制度となっている。情報交換し研修する。

清明会



松橋 久敏



QRコード

自主財源の確保を

**Q** 自主財源確保の施策は。

**A** 税収の拡大を図ることが重要であり、特に市民税の個人分・法人分確保のため、移住定住による人口増や企業誘致・既存企業への就業機会の確保や拡大などに力を入れている。市税以外の取組についても、企業版を含めたふるさと納税、ふるさと寄附金の積極的なPRや未利用資産の売却、貸付等を進める。

**Q** 人口減少の歯止め策は。

**A** 手厚い子育て施策を効率的に分かりやすく発進するとともに、アフターコロナを見据えてこれまで取り組んできたワーケーションの取組みを一層推進し、関係人口の増加を契機として定住に結びつける。

**Q** こども課創設にあたり、独

自の子育て支援策の考えは。

**A** 子ども家庭支援拠点を設置し、妊娠時から就学時まで切れ目のない伴走型の相談支援に取組む。また、新たに保育料と副食費の完全無償化を行う。

**Q** 少子化対策は未婚化対策と言えるが、結婚支援の新たな取組の考えは。

**A** 地域おこし協力隊の結婚コーディネートを中心としたNPO法人を今年夏頃に立上げ、成婚率の向上を目指す。

**Q** ゼロカーボンシティの宣言の予定は。

**A** 令和5年度中の宣言に向けて検討している。



都内での移住定住推進活動

活かそう市民の声

# 市政を問う！ 一般質問

一般質問は、3月6日・7日の2日間で行われ、9人の議員が登場しました。

**板垣 淳 議員 (P8)**

- ◆森吉山荘について
- ◆道の駅たかのすについて
- ◆LGBTQへの対応について

**福田 牧子 議員 (P9)**

- ◆新型コロナウイルス感染症対策について
- ◆少子化対策について
- ◆介護保険事業について

**佐々木 正史 議員 (P9)**

- ◆環境省の国立・国定公園総点検事業フォローアップ結果について
- ◆義務教育学校阿仁学園体育館と阿仁体育館について

**福岡 由巳 議員 (P10)**

- ◆「憩の森」の環境整備について
- ◆森吉山県立自然公園の国立・国定公園への昇格について
- ◆市制20周年記念事業について

**久留嶋 範子 議員 (P10)**

- ◆子ども子育て支援について
- ◆敬老式のあり方について

**中嶋 洋子 議員 (P11)**

- ◆直木賞作家「渡辺喜恵子」について
- ◆みちのく子供風土記館について
- ◆文化会館について
- ◆市職員の職場環境について
- ◆広報きたあきたについて

**三浦 倫美 議員 (P11)**

- ◆合川駅前公民館解体跡地に建設予定の福祉施設について
- ◆「ご遺族支援コーナー」について

**虻川 敬 議員 (P12)**

- ◆空港の利活用について
- ◆道の駅たかのすについて
- ◆当市の観光について
- ◆市内の施設について

**五代儀 義富 議員 (P12)**

- ◆通学路の安全対策について
- ◆鷹巣字下家下の排水対策について
- ◆物価高騰対策について

**板垣 淳 議員**

(日本共産党議員団)



QRコード

道の駅たかのす  
整備「見直す」

**Q** 森吉山荘再開の見通しは。事業者を募集したが申し込みがなかった。公募条件を変更して再募集する。

**Q** 高速道路ができて国道7号線の交通量が激減した。だから道の駅たかのすを整備しても利用客増加は見込めない。そこに14億円もかけるのか。老朽化した大太鼓の館の修繕など必要最低限にとどめべきだ。

**A** 整備計画を見直しする。本年度予算化した基本設計費などは全額削除する。

**Q** 岸田首相は、同性婚を認めれば「社会が変わってしまう」と発言したが、どの世論調査でも「同性婚を認めるべき」が約70%。社会はもう変わっているのに、政治は

いまだLGBTQ性的少数者への差別解消法も理解増進法も作れないでいる。当市としてパートナーシップ宣言をし、あわせて市職員や市民向けの研修会も行ったらどうか。

**A** 昨年4月に秋田県がパートナーシップ宣言をした。それによって北秋田市民も市営住宅の入居など異性パートナーの事実婚と同じ適用をしている。そのことも含め差別解消、理解増進については、市広報で周知してきた。今後は市民が気軽に参加できる講座を開催したい。

**Q** 宣言だけでは限界があるので、法律で同性婚を認めるように国に働きかけを。

**A** 市長会で意見交換したい。



整備見直す道の駅たかのす



福田 牧子 議員

(公明党)



医療ミスを防止策と地域の課題解決を

**Q** 新型コロナウイルスの量を間違えた後の対応、具体的な再発防止策としてマニュアル整備が必要では。

**A** 施設ではミスが判明した翌日に医師団との協議、入所者と職員の間健康チェック、入所者及び家族へ謝罪通知と電話で謝罪をした。ワクチン名、接種量、接種間隔等を複数名で確認することとしており、接種のマニュアルは都度ある。ダブル・トリプルチェックを徹底する。

**Q** 少子化が保育園関係事業所の経営に影響、支援策は。

**A** 地域区分の見直しを県市長会から国へ要望中である。段階が一つ上がることで、年額70万円から600万円の改善を期待している。

**Q** 民間保育園の定員が10名減るこ

との影響は。

**A** 一人当たりの単価が増えるので経営面の影響はない。

**Q** エssenシャルワーカーは、女性が多く従事している職業であり、少子化対策としても待遇・処遇改善が必要では。

**A** 介護職・保育士は国庫補助金による処遇改善を実施する。

**Q** 委託事業の保育士の処遇改善の対応は。

**A** 委託内容を精査する。

**Q** 3か所の地域包括支援センターの現状と課題は。

**A** 総合相談件数が前年度より17.9.1%増加。高齢者の偏在化。専門職の確保が難しい現状。サテライト方式への変更により現状にあった相談体制の構築を検討。専門知識を有した人材の育成が課題。



子育て支援施設

佐々木 正史 議員

(清明会)



国立・国定公園選定への対応は

**Q** 環境省による国立・国定公園フォロアアップによる森吉山を含む規模拡大・新規選定に係る市当局の対応と具体的な施策は。

**A** 国立公園区域の拡張、又は国定公園の新規指定に選定されたことは、心から歓迎するし大変誇りに感じている。これまで以上に国や県関係市町村と連携し、市民や関係機関と理解を深めるため、シンポジウムの開催や、清掃登山・親子登山など幅広い世代を対象とした参加型イベントを開催する。

**Q** 国立・国定公園に指定された場合のメリット・デメリットは。

**A** メリットは、環境が保護されることや公園来訪者の増加により経済波及効果があること、地域ブランドのイメージが上がることなど。

デメリットは、ある程度の規制が掛かることで事務が煩雑になり手続きに時間が掛かることや、国有林・民有林も含まれて来ることから、財産権の制約などがある。

**Q** 義務教育学校阿仁学園の体育館は、現在の阿仁合小中学校の体育館を使用するようだが、阿仁中学校の新しい体育館の併用は考えていないか。

**A** 授業や学校行事の内容に応じて阿仁中学校の体育館も併用出来るよう検討する。

**Q** 阿仁体育館の今後について出来るだけ永く存続出来ないか。

**A** 施設の老朽化により、大規模な改修が見込まれることから、令和6年度中に解体を含め在り方について検討する。



前田地内より見た森吉山

福岡 由巳 議員

(無会派)



QRコード

市長はスピード感ある行動を

Q 憩の森全体を市民の憩いの場として条例に沿って早急に整備すべきである。

A 新年度、現地調査を行い、条例の廃止を含めた今後のあり方について検討を行う。

Q これまで管理してこなかったから調査に入るとのこと。グラウンドゴルフ場以外、管理運営は市長である。条例違反でないか。

A 指摘の点も踏まえて新年度、現地調査し対応を考えたい。

Q 体育館も含めて放置してきたのは当局であり、憩の森条例第6条では損害賠償義務となっている。

A 条例の「故意または過失」によって行ったとは考えていない。

Q 最近健康寿命とか低山への関心が深まり、その意味でも整備す



国立・国定公園候補の森吉山

べきでないか。

A まず調査をして今後、検討していきたい。

Q 森吉山県立自然公園の国立・国定公園昇格について。市長は環境省への態度表明などをなされたのか動きが見えない。

A 現在まで環境省からの具体的な情報が県の方へ入っていないため他団体と情報共有を図っている。

Q 市長の答弁は情勢に遅れている。環境省が国立・国定公園にするとやっているのだからスピード感をもって行動し、同時に計画書は関係団体からの要望書等を参考に作成できる。まず市長がトップセールスとして動くべきでないか。

A しっかり取り組んでいくので応援よろしく願います。

久留嶋 範子 議員

(日本共産党議員団)



QRコード

子育て支援として給食費無償化を

Q 政府が「異次元の少子化対策」とうたう中、子育て支援策や少子化対策を打ち出す自治体が相次いでいる。当市でも重点施策の人口減少・少子化対策として、私立・公立保育園の無償化を示したが、さらに思い切った施策として、教育費負担の軽減のため、学校給食費の負担をゼロにすべきと考える。

A 全国でも公立小中学校の給食費の無償化が増えており、特に東京都内では、23区中9区が実施。青森市も昨年10月から「無償化で子育て世帯の負担軽減につなげたい」と、中核市で初めて実施した。少子化対策として大きな流れになっている。ぜひ当市でも実施を。

A 保護者に対する感謝の気持ち育てる教育的観点からも保護者に



23年度以降敬老式典は中止

負担していただくと考え。しかし食材の値上がりにつき給食費値上がり分を23年度に限り市独自で支援することとした。

Q 65歳以上の市民を対象に「敬老式に関するアンケート」を実施した。多くの意見が寄せられ、今後にかかしていきたいとしたが、どう受け止めているか。

A 昨年10月にアンケート調査を実施し、403人から回答を得た。「内容に関わらず参加しない」が43.7%、「式典廃止」は35.9%だった。昨年の式の参加率は19年度の半数に満たない10.99%で、この状況を踏まえ、23年度以降の敬老式典は実施しないこととし、米寿を迎える方に記念品を贈る方式へ変更する方針とした。

中嶋 洋子 議員

(清明会)



QRコード



渡辺喜恵子顕彰  
事業の企画展を

**Q** 今年には直木賞作家・渡辺喜恵子氏生誕百周年の節目の年です。企画展などの計画はあるか。

**A** 岩手県二戸市で開催中の特別ミニ企画展に子供風土記の会と市民対象の見学会を計画している。今後機会を捉えながら渡辺氏を顕彰する事業を検討していく。

**Q** みちのく子供風土記館の事業に今年の顕彰事業の企画を。

**A** 今後は児童生徒が渡辺氏について学んだことを、子供風土記館を訪れて学習を深めるような事業を進めたい。

**Q** 市職員の職場環境について。

**A** 休職人数は。職場内でパワハラ・セクハラ等の問題はあるか。庁内の共通の問題はないか検証すべき。2月20日現在、休職している職



みちのく子供風土記館

員は7人。随時面談を行い、職場復帰支援プログラムの活用など、早期復帰に向けて支援している。

全職員対象の研修会や市職員のハラスメントの防止等に関する指針、マニュアルの周知、啓発に努めている。現時点で問題はない。

**Q** 「広報誌は住民へのラブレター」誠実に研究・研鑽しながらより進化している市の広報は、どのような視点で企画を考えているか。

**A** 市の課題を市民と一緒に考え、解決に向かう入口としての役割を果たせるよう、常に地域に目を向け、企画・編集に努めていく。

**Q** 「市長・エッセー」とかあれば、市民が近くに感じられるのでは。

**A** 市政や市長がより身近に感じられるよう、手法を検討する。

三浦 倫美 議員

(日本共産党議員団)



QRコード



合川に建設予定  
福祉施設計画は

**Q** 合川駅前公民館解体跡地に建設予定の福祉施設。事業計画内容は。

**A** 「北秋田市地域生活支援拠点」国の指針で平成27年度市の障がい福祉計画に整備目標設定。令和2年度「北秋田市障がい児者総合支援協議会」で整備を進める事に。令和3年、市内複数の社会福祉法人への意向確認で1法人から前向きな回答あり、令和3年度と4年度、国へ補助事業申請を行ったが不採択。令和5年度採択に向けて準備を進めており、令和6年度の開設を目指している。事業主体は当該法人。全体の事業費3億8990万円。国と県合わせて約半分補助予定。市は補助事業申請サポート、建設費の一部1億4967万円補助。土地は市が無償貸与。

定員は生活介助20名、短期入所3名、共同生活援助6名、放課後等デイサービス10名。会議室等自治会も活用可能。地域共生社会の実現へ、市民の共通認識の下、進められるよう連携して取り組む。

**Q** 「こ遺族支援コーナー」令和2年12月議会一般質問で能代市の先進事例も紹介し提案。令和4年度から開設実現。どう取り組んだか。

**A** 能代市へ3回程視察、参考にし、約1年かけて各担当課11課17係のとりまとめ39項目、業務分担整理、人員確保、スペース確保。電話等事前予約で、亡くなられた後の手続書類を、ご遺族が各係を回ることなくワンストップで行うことができ、市役所以外の28項目ほどの相談手続きの案内も行っている。



合川駅前公民館解体跡地

虹川 敬 議員

(新創会)



QRコード

空港3便化の  
定着のために

**Q** 大館能代空港を利用しなければならぬ絶対的な目的、補助金以外の検討はあるか。

**A** 観光やビジネス分野での利用促進のほか、東京のお孫さんに会いに行くなど、小さな目的の積み重ねも搭乗率の向上につながるものと考えます。空港利用がより身近なものとなる取組も進めていく。

**Q** 企業ファンクラブに加盟しないビジネスでの利用者にも補助、優遇措置は考えないか。

**A** 利用促進協議会で全て歩調を合わせて進めているので、協議会内において提案させていただきたい。

**Q** 空港、北欧の杜公園の連携に関しては。

**A** 昨年、株式会社モンベルと提携した。北欧の杜公園でのキャンペーン

体験を含む自然体験型イベントの実証実験においては、他の地域にはない観光コンテンツとして高い評価をいただいた。北欧の杜公園は新たな開発等によらずとも現在の環境下において空港利用と連動した取組が可能であると考える。

**Q** 地元住民が使いやすいダイヤへと市が中心となり働きかけては。

**A** 現在より早い便の創設には夜間駐機が想定されるが非常に費用が掛かるほか様々な課題がある。まずは3便化確定に取り組んでいく。

**Q** 空港名を北秋田市にゆかりのある名称へ変更の考えは。

**A** クリアするべき条件が多くあるが、北秋田市のPRや知名度を上げる一つの手段でもある。空港設置者である県や航空会社、国に相談しながら進めていく。



大館能代空港3便化に全力

五代儀 義富 議員

(無会派)



QRコード

住民要望から10年  
対策は進んだか

**Q** 鷹巣中学校の通学路のうち鷹巣陸橋の歩道部分の整備と、冬期間の通学時間帯の対応はどうか。

**A** 歩道部分の拡幅と、自転車の退避場所の整備についての要望があった。拡幅について、所管する県に市から要望したが構造上、無理との回答だった。退避場所について

では綴子川堤防の舗装と防護柵の更新で対応した。昨年11月の実施調査では鷹中生の交通マナーは良く、安全性は確保されていた。

**Q** 鷹巣字下家下では10年前にも同じ浸水被害に遭い対策を求めているが、その対策は進んでいるのか。

**A** 今回のような過去に例のない集中豪雨のような場合では、排水の能力を超えてしまい残念ながらこうした事は起こり得る。出来る事から取り組んではいいるが、大変な時間を要することも事実である。令和3年発足の米代川圏域流域治水協議会に諮るなど、関係する団体と協議を重ねているが更に時間を要する見込みとなっていて大変申し訳ない。最終責任者として対策に向けて確実に前進する時間のかけ方をして行きたいと思っておりますのでよろしくお願ひしたい。

**Q** 学校給食支援事業の継続を。

**A** 物価高騰が続く中、現行の給食費では必要な栄養価を維持した給食の提供が困難だとして、学校給食運営委員会では値上げが必要であるとの決議がなされたが、保護者の経済的負担の軽減を目的に令和5年度限りとして値上げ相当分を補助する事とした。



8月豪雨による下家下の浸水被害

# 第1回臨時会

## 令和4年度 一般会計補正予算 3億8149万3000円を追加

第1回臨時会が2月8日に開かれ、上程された予算案1件、人事案件1件を審議しました。

今臨時会に上程された補正予算には、第2弾となる「市民応援チケット事業」など、総額で3億8149万3000円の追加事業が提案されました。議案に対する質疑では、議員から「市民応援チケット事業について、前は5,000円であったが、今回10,000円とした根拠は。」との質疑があり、当局からは「消費者物価指数を参考とし、その値上がり分を根拠とした。」との答弁がありました。審議の結果、原案のとおり可決しました。

人事案件では任期満了に伴う副市長の選任について投票が行われ、賛成少数により不同意となりました。

### 《一般会計補正予算の主な事業》

- ▷ふるさと寄付金事業  
50,000千円
- ▷大館能代空港利用促進事業  
13,275千円
- ▷市民応援チケット事業  
308,184千円
- ▷マイナンバーカード交付関連事業  
1,454千円
- ▷きたあきた赤ちゃん応援事業  
8,580千円

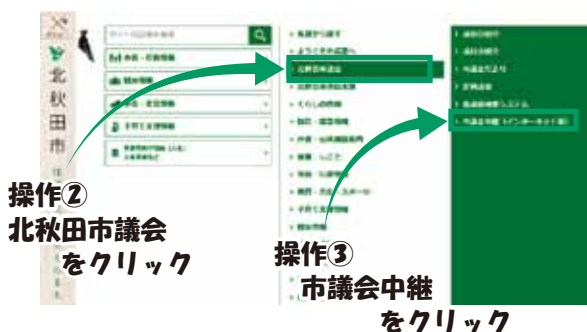


### パソコン

〔北秋田市ホームページ〕



操作① メニューをクリック



操作②  
北秋田市議会  
をクリック

操作③  
市議会中継  
をクリック

### スマートフォン・タブレット

①QRコード読み取りアプリを起動して  
下のQRコードを読み取る



生中継・録画映像  
配信先QRコード

画面が切り替わりましたら、再生ボタン  
を押してください。

〔議会中継のページへ〕



操作④ 再生をクリック  
(本会議の生中継がご覧になれます)

本会議の生中継や録画映像が  
スマートフォンやパソコンなどでご覧になれます

会派の異動

▽「未来きたあきた」解散

1月31日付けで佐藤光子氏が議員辞職したことに伴い、会派「未来きたあきた」が会派構成の要件である議員3人に満たなくなったため、同日、同会派から解散の届出が提出されました。

▽清明会から異動の届出

2月20日に会派「清明会」の小笠原寿代表から、永井昌孝議員の加入の届出がありました。

この異動で同会派の構成議員は7人になりました。

市議会へのご意見を募集しております

対象 市内在住又は通勤通学をしている方

方法 手紙、FAX、メール

(文字で読める形式のもの)

公表 ご意見をホームページや広報紙で公表する場合があります。

あり。

あて先 〒018-3392  
北秋田市花園町19番1号  
北秋田市議会事務局

メール  
gikai@city.kitaakita.akita.jp

●FAX  
0186-62-4845

皆さまからの 請願・陳情と意見書提出

件名	請願・陳情者	結果	意見書
消費者被害を防止、救済するため特定商取引法の抜本的な改正を求める陳情書	秋田弁護士会 会長 松本 和人	採 択	提出
「最低賃金の改善を求める意見書」の採択を求める陳情書	秋田県労働組合総連合 議長 越後屋 健一	採 択	提出
最低賃金の改善にあたり、「中小企業・零細企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	秋田県労働組合総連合 議長 越後屋 健一	採 択	提出
庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情	秋田県を明るくする会 笠原 尚子	採 択	—

議会を傍聴してみませんか

市議会では、皆さんの生活に直結した重要な問題を審議しています。開かれた議会を目指し、どなたでも本会議の傍聴が可能となっていますので、市議会の活動状況をぜひご覧くださいませようお待ちしております。

広報特別委員会

委員長 五代 儀義富  
副委員長 福岡 由巳  
委員 佐々木 正史  
委員 久留嶋 範子  
委員 中嶋 洋子  
委員 佐藤 文信

議会の動き

<1月15日~4月15日>

1月

- 17日・広報特別委員会
- 19日・県道矢坂糠沢線整備促進期成同盟会総会（書面）
- 30日・総務文教常任委員会所管事務調査
- 31日・市民福祉常任委員会所管事務調査
- 産業建設常任委員会所管事務調査

2月

- 1日・議会運営委員会
- 4日・第14回北秋田市民スキー大会兼第66回北秋田学童スキー大会
- 6日・秋田県市議会議長会定例会
- 8日・第1回臨時会
- 9日・全国市議会議長会理事会・評議員会合同会議
- 北秋田市上下小阿仁村生活環境施設組合議会定例会
- 10日・全国市議会議長会産業経済委員会・正副委員長会議
- 14日・秋田内陸縦貫鉄道議員連盟研修会
- 16日・議会運営委員会
- 17日・秋田県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 20日・議会運営委員会

3月

- 1日・3月定例会（初日）
- ・広報特別委員会
- 2日・本会議
- 4日・北秋田市スポーツ表彰式
- 6日・本会議 一般質問①
- 7日・本会議 一般質問②
- ・議会運営委員会
- 8日~9日
- ・総務文教常任委員会
- ・市民福祉常任委員会
- ・産業建設常任委員会
- 16日・議会運営委員会
- ・3月定例会（最終日）
- 20日・阿仁合小学校閉校式
- ・大阿仁小学校閉校式
- ・阿仁中学校閉校式
- 24日・タブレット操作研修会
- 28日・ペーパーレス会議システム操作研修会

4月

- 3日・定期人事異動辞令交付式
- 6日・阿仁学園開校式
- 11日・広報特別委員会
- 13日・東北市議会議長会定期総会（~14日）